

教育・文化・スポーツ ふれあい豊かに

会津高田町には小学校七校、中学校二校、幼稚園二園があり、児童、生徒、園児たちが、毎日元気に通学しています。新時代に対応できる人材を育成するため、国内外交流を積極的に進めるとともに、生きた語学力と国際感覚を養うための外国人英語指導助手の招致や、小中学校へのパーソナルコンピュータの導入などを行い、自ら考え行動する創造性豊かな人材の育成能力の開発を図っています。

平成七年十二月に完成した町立第一中学校校舎は、木材をふんだんに使った自然の温もりいっぱい建物は、最大の特徴はホームベースと呼ばれるロッカー室に教科書などを置き、そこから教科ごとに生徒が教室を移動する新しいシステムを導入、また、情報化社会に対応して、コンピュータ室やLIL教室を配置しています。将来、この最新型の学校からどんな人材が生まれてくるのでしょうか。

教育文化を 大切にしての人づくり



高田一中



高田大学

教育は年代を問いません。「知りたい」という気持ちが生涯学習の原点なのです。

人生八十年代を迎え、新しい知識や技術、興味などを身につけ、人間として豊かで充実した人生を送りたいと願う人が増えています。これを受けて会津高田町では、平成七年十一月に「生涯学習の町」を宣言し、学びたいと考えている人たちを支援することになりました。福島県では五番目となりますが、国や県の補助を受けず自主的に行っている、県内でもまれな例として注目されています。町では「いつでも、どこでも、だれでもが」をキャッチフレーズに、学習したい、活動したいという町の人の要望に応えられるように、「高田大学」のような数多くの講座や学習サークル、活動グループに自主的に参加できるように生涯学習の体系づくりを推進しています。



高田二中のコンピューター授業